

# 古川なおき 第128号 レポート

自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊 2015年3月1日



## Go Forward ~前へ~

皆様お元気ですか！

桜の開花が待ち遠しい季節になりました（母校希望ヶ丘高校の桜はおすすめです）。

26歳初当選以来、お世話になりましたことに心より感謝申し上げます。任期中最後のレポートになるかもしれませんので、少し思い切って最近感じていることを書かせていただきます。

### ○前向きな議論

横浜は超少子高齢化や将来の人口減少社会が迫る中、子育て支援や高齢者福祉の充実が求められています。一方、これらのサービスを充実させるためには税金などの財源が必要であり、税金により財源を確保するためにも政府が言うように景気回復が何より重要です。もちろん税金の無駄を省くことは大切ですが、必要な事業まで無駄だとすることは、人々の意識そのものを萎縮させ、景気の低迷にもつながってしまうように思います。大事なことは、後ろ向きの議論ではなく、前向きな議論だと思います。国会の議論もそうですが、他の政党の足を引っ張り合うのではなく、もっと建設的な議論が必要だと思います。

昨年は、地方議員の不祥事により地方議会そのものの存在が問われましたが、横浜市会では自民党市会議員団が中心となり、様々な政策提言や条例の制定に取り組み、地方議会のあり方を広く世の中に示すことができました。私も自民党の政務調査会長として、数々の条例の制定に関わらせていただきました。前回の選挙でお約束した8本の条例は「商店街振興基本条例」を2月の本会議で可決し、7本まで制定することができ、新聞や大学教授などの有識者からも高く評価されています。横浜市議員は86人で、条例を制定するには賛成議員が過半数を超えなければなりませんので、各条例に賛同してくれた自民党以外の各会派の皆様にも感謝申し上げたいと思います。

### ○自分に何ができるかを考える

昨今は、海外での残虐な事件の映像がネットで流れ、国内でも悲しい事件が起きています。こうした事件が起きる度に、人間性を取り戻すにはどうしたらいいのかを考えさせられます。経済も大切ですが、教育はもっと大切だと思います。家庭での教育が重要であり、道徳教育だけで全て解決するとは思えませんが、道徳の教科化に向けて、学校でもしっかりと力を入れなければならないと思います。また、学校を地域や社会全体で応援する体制作りも欠かせません。何か問題や課題が起きた時、私たちは「自分に何がで

きるか」を考えることが必要だと思います。教育のことであれば、子どもたちことを言う前に、まずは大人自らが、家族や職場、地域など周りの人に笑顔で挨拶することからはじめてもいいのかもしれませんが。

高齢者福祉のスタッフの方が、要介護者の方は何でもしてくれるサービスの充実を求めているのではなく、本当は、少しでも自分にできることを自分で行うことに幸せを感じるのだとおっしゃっていました。生活保護費の不正受給が問題となっていますが、働くことにより、わかり合える仕事仲間も見つかり、幸せで充実した人生になるように思います。雨の日に「農作物が育つ恵みの雨」だと思えるような、前向きに物事を捉えられる人が増えるような社会の実現に向けてがんばりたいと思います。



駅でレポートを配ってくれた学生の皆さん

### ○あきらめない心

私の周りには65歳を超えても元気に働いている人が多くいます。江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬は、隠居する当時の年齢50歳を過ぎて20歳も年下の学者から天文学を学び、55歳から約15年以上も歩いて（地球を一周したことになる）地図を完成させました。現代であれば60歳で定年退職後に会社を設立し、15年後に上場するような人生です。スポーツ界でもスキーの葛西選手、横浜FCのカズ選手、中日の山本投手などレジェンドと言われるベテランの活躍に元気をいただいています。

今の日本に必要なのは「前向きな気持」や「あきらめない心」だと思います。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から注目されます。世界を見れば宗教や価値観の違いで紛争が起きていますので、日本の「和を持って尊しとなす」といった考え方や日本の文化、伝統を世界に向けて発信することで、世界の安定に貢献する使命が我が国にはあると思います！

少子高齢化と人口減少は先進国が抱える共通の課題ですが、世界の中でも教育水準が高く、治安も衛生状態も良く、安全な水が飲める日本は恵まれています。一人一人の日本人の力を最大限発揮すれば、我が国が課題解決先進国となることも実現可能だと思います。そして、横浜がその先頭に立って日本に自信と誇りを取り戻すことができるよう、微力ながら私もがんばります！

最後まで古川なおきレポートをお読みくださり、本当にありがとうございました！

横浜市議員 古川なおき

**古川なおきプロフィール**

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
 横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
 平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)  
 現在 平成26年 こども青少年・教育委員会副委員長  
 健康づくり・スポーツ推進特別委員会  
 自民党横浜市議員団所属/横浜市会FCキャプテン  
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事 (K39)  
 旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問  
 旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問



【神奈川新聞18面 平成二十七年二月二十五日（水）】

# ホームドア整備補助へ

## 視覚障害者利用駅で市

横浜市の林文子市長は24日、視覚障害者が利用する施設が近くにある相鉄線二俣川駅（旭区）、横浜線大口駅（神奈川区）、東横線妙蓮寺駅（港北区）の3駅でホームドア整備をする場合、補助対象とする方針を示した。市は昨年、ホームドア整備の補助金制度を創設、鉄道会社へ支援している。3駅は補助要綱で定めた乗降客数に満たないが、要綱にある「市長が認める駅」に該当するとした。（桐生 勇）

### 二俣川■大口■妙蓮寺

同日開かれた市会本会議で古川直季氏（自民）の質問に答えた。利用客の転落防止用のホームドアや柵については、2011年に国土交通省の検討会が1日の乗降客が10万人以上の駅に優先的に取り付けるように鉄道事業者に求めている。市が昨年設けた補助要綱も国の示した方針に沿い、10万人以上の駅を補助対象としている。補助率は12分の1で、県と国の補助を合わせると整備費の2分の1で公費を使うことができる。鉄道会社からの申請に基づいて補助を決めており、14年度は東急東横線、みなとみらい線の横浜駅でホームドア整備で2千万円を補助。3月中に供用する予定となっている。10万人以上が利用する駅は市内に20駅あり、林市長

は「2020年度までにホームドア整備が完了することを目標としている」と述べた。また、県ライトセンタ1が近くにある相鉄二俣川駅、市立盲特別支援学校の環状鉄道「答申反映を要望」15年度整備着手めぐり市長審議会

横浜市林文子市長は24日、2000年の国の運輸政策審議会答申で15年度に整備着手することが適当であると位置付けられながら未着手となっている横浜環状鉄道（仮称）の新設（元町・中華街―中山、日吉―鶴見）について、15年度中に予定されている国の交通政策審議会答申にも引き続き反映されるよう要望する考えを示した。同日の市会本会議で古川直季氏（自民）の質問に答

環状鉄道「答申反映を要望」15年度整備着手めぐり市長審議会  
市都市整備局によると、横浜環状鉄道の一部区間については市営地下鉄グリーンライン（日吉―中山）として運行しており、未着手区間は日吉―鶴見と、中山―二俣川―東戸塚―上大岡―根岸―元町・中華街。林市長は「横浜環状鉄道全線の整備は地域一体化や代替ルートの確保につながる。重要な路線」とし、「既存のグリーンラインやみなとみらい線に隣接する区間について、事業性をさらに高める検討をしてい

く」と表明した。将来的な鉄道計画を議論する国の交通政策審議会が行われている現状を踏まえ、「環状鉄道があらためて国の答申に位置付けられるよう、しっかりと要望していく」と述べた。市の試算では、環状鉄道全線が開業した場合の新設区間の1日の平均利用者数は4万2千〜5万5千人で、概算事業費は約6600億〜7200億円。日吉―鶴見間で約30分が約10分に、中山―二俣川間で約40分が約10分に短縮されるとしている。（石尾 正大）

通学者が利用する横浜線大口駅、東横線妙蓮寺駅についても申請があった場合は補助の対象とするとした。市は15年度の予算案で、東横線菊名駅、相鉄線横浜駅で計5千万円の補助金を計上している。林市長は今後、予算の確保に努めるとともに、早期にホームドアの整備が進むよう補助制度の積極的な活用を鉄道事業者に働きかけていくと述べた。

▼2月24日（火）の本会議で市長と教育長に質問



▲商店街振興に一役 ▲都市農業の大切さを体験 ▲朝の駅頭 ▲あさひ区民祭りにて

### 活動の一コマをご紹介します！



▲商店街振興に一役 ▲都市農業の大切さを体験 ▲朝の駅頭 ▲あさひ区民祭りにて



お気軽にご連絡ください。  
FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000  
E-Mail: jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています！

古川なおき政務調査事務所  
〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1  
希望ヶ丘駅より徒歩6分

